

あきしま市

# 自治連会報

自治連が裾野を支える昭島市

特集<取り戻そう！地域の絆>



人と人とのコミュニケーションを深め、ふれあいと思いやりのある街づくりのために、“あいさつの輪”を広げよう。

## あいさつは 言葉で 心で まなざしで

(昭島市・昭島市教育委員会・昭島市青少年問題協議会 あいさつ運動推進標語)

年頭にあたつて

昭島市自治会連合会

会長 小野 正敏



とご協力をいただき、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、

本当に災害の多い年で、3月11日の東日本大震災、原発事故、異常気象による豪雨、ゆっくり進む台風による洪水で多くの尊い命と貴重な資産が失われましたし、国外においても洪水災害、地震により多くの命と財産が失われました。

これらの災害により被害を受けられた方々に対し哀悼の意とお見舞いを申し上げます。また、ギリシャを始めとして、欧州での信用不安の連鎖が懸念され、為替の不安定と相まって、世界経済も、日本経済も厳しい1年になることが予測されています。

昨年の東日本大震災を機に、自治会活動の意義、防災活動の重要さが再認識されていますが、今年も自治会活動の重点を自助・共助による防災・減災におきます。

また、地域には、多くの団体が課題解決のため色々な活動を行っていますが、本年は自治会連合会として、これらの団体と連携を取りながら、人と人との繋がりを強め、地域力を向上し、共助による安心して生活できるまちづくりを進めていくたいと考えています。

このような活動を続けていくことが、自治会加入率向上活動の助けになると信じています。自治会連合会のホームページ、立ち上げてから1年が経過しようとしています。内容編集等に関し、皆様方の忌憚のないご意見をいただき、よろしいものにして行きたいと思います。本年も、皆様方のご活躍とご健勝を祈念すると共に、自治会連合会の活動に対し一層のご理解とご協力を願いいたします。

1. 1

平成24年  
(2012年)

■発行者

小野 正敏

■編集

昭島市自治会連合会

広報委員会

昭島市田中町1-17-1

昭島市役所内

TEL 544-5111

## 平成23年度自治会 地域懇談会を開催！

恒例の自治会地域懇談会を、平成23年11月8日（火）18時半から、昭島市役所の市民ホールにて開催しました。行政から、北川市長、副市長、教育長、各部長等に出席いただき、自治会からはブロック長、副ブロック長と自治連の顧問、会計監査が参加しました。

地域懇談会の主な内容を紹介いたします。

最初に北川市長より、この地域懇談会は平成11年度から始まり、12年間開催してきた。日ごろ自治会役員の皆様には、自治会活動等を通じて昭島市政発展のために大変なご尽力をいたしており、今回の大震災に対しても自治会連合会ならびに単一自治会から義援金等の支援、また物的な支援、ボランティアとして人的な支援と、各分野にわたっていろいろなご支援をいただいた。深く感謝したいとの御礼の挨拶がありました。



次に、自治会連合会の小野会長より、地域懇談会を継続開催していただいていることに対しての行政への御礼と地域懇談会の進め方の変更に触れ、これからも行政と地域との連携強化をはかっていきたい旨の挨拶がありました。

懇談会に入り、議題1『現在の昭島市の財政状況』について、早川企画部長より説明がありました。

市の財政状況はバブルの崩壊やリーマンショック以降厳しい状況が続いており、市税が大幅に減

少する一方で、歳出側は社会保障関係費が増大し、少子化の対応等の施策にもお金が掛かり、財源不足が拡大している。市としては、行財政改革に取り組み、経費を削減して財源確保に努めているが、社会経済の現状は厳しく、近年は貯金（基金）の取り崩しや赤字地方債という借金で、何とか行財政運営の財源を確保しているという実態について、資料に基づき説明を受けました。

その後、参加者から説明の内容について質問が出され意見交換をしました。市長からも毎年決算が決まったときには、広報「あきしま」に概要を掲載しているので、不明な点などは何なりと問い合わせていただきたい旨の話もありました。

続きまして、議題2『地域コミュニティ全般の捉え方』について、意見交換を行ないました。

自助・共助の地域力向上のための「①活動拠点づくり」についての話題に移り、地域活動において防災対策の強化、さらに防犯や環境問題をはじめ、高齢者や災害弱者の支え合い、また将来を担う子供たちの健全育成などの課題に対し真剣に取り組む際、活動拠点が必要で、今後とも市立会館や他の公共施設を活動拠点として使用できるよう、また空き教室の活用も検討いただきたい旨の申し入れを行ないました。また、各自治会で災害発生に備え、備品等の収納施設の設置場所にも苦労しているとの話があり、「拠点づくり」と「防災倉庫設置場所の確保」について意見交換をしました。市内の市立会館については、今後とも有効活用できるよう、自治会の総会等の際は優先予約等の弹力的な運用が可能とのことでした。空き教室（余裕教室）の自治会での活用については、35人学級という制度のなか、空き教室を多目的に学校が工夫をして使っているので今後個別に検討していきたいとのことでした。

また、防災倉庫等の収納施設を身近な公園に設置したいという件は、公園には都市公園と児童遊園とがあり、児童遊園に空きスペースがあれば、個別に検討していきたい旨の話がありました。

次に「②自治会・学区・防災等、各種団体の地域割りの統一」について意見交換をし、自治会のみならず各種団体組織の地区割り統一化については、地域力を発揮する為にも、長期的な課題として取り組んでいくことになりました。また、学区

も自治会を隔てて区切られてしまっていることもあります、将来の学校統合の際には地元地域と相談しながら進めていきたい旨の説明もありました。

議題2の最後、「③コミュニティ協議会・自治会の位置付け」については震災後、地域住民の深い結び付きの下での共助、連携を深め難題に立ち向かっていく意識が高まってきた中、自治会組織を基にしたコミュニティ協議会の立ち上げが望まれます。この支援に対しての考え方の意見交換を行いました。

平成17年5月に昭島市コミュニティ構想がスタートし、「あきしま・街づくり市民会議・なががみ」(平成15年11月)、「武蔵野会館運営協議会」(平成17年11月)が設立され、昨年6月「まちづくり昭島北」が立ちあがり3つの協議会があります。

これから新たな協議会が特に望まれている地域については協議し、市としても検討する旨の話がありました。

また災害時、行政と自治会の連携や対応について、行政としてイザという時、自治会加入率が40%台を下回っている現状にどのように対応していくのか、自治会の位置付けがどうなっているのか確認をしました。

今後とも市として自治会連合会と連携を取りながら、避難のガイドラインや高層住宅に対応したマニュアルを協議し作っていく中で、自治会の加入率の向上を図っていくことになりました。

引き続き、議題3『緊急時における個人情報の開示』について、はじめに7月の自治会長研修会、10月の自治連役員での災害緊急時支援センター(茨城県)への視察、11月に自主防災組織のリーダー(自治会長等)に対して、東京都の助成金を活用し特製のヘルメットを作製し配布したこと等、東日本大震災以降、自治連や自治会の“防災・減災”についての取り組みを紹介しました。続いて災害に強いまちづくりを目指し、「①災害時要援護者名簿の配布先と活用方法」についても意見交換を行ない、登録の際、自治会加入を確認し、未加入者へは加入促進を依頼しました。名簿の配布先の7つの団体とのイザという時と平常時の要援護者対応等のことを話し合う場を要望しましたが、各団体と調整し今後の防災協議会の在り方につい

て、検討していくことになりました。

また、正しい知識を持った「②自主防災のリーダーの育成」のため、防災士資格者を増やしていくことに関しては、今後検討したいとの話でした。

行政がいろいろ発災時の仕組みをつくっているが、自主防災組織はそれを余り知らないという現状を開拓する為の「③行政と自治会連合会との防災協議会の開催」については、自治会連合会として2月11日市民会館で、自治会役員等への「自主防災組織はイザという時のために、平常時何をすべきか」をテーマにした防災リーダー研修会を行ないますので、それまでに何回か担当部署と話し合いを持つことを依頼しました。

最後の議題4『地域開発や地域環境変化の情報の早期周知』について、地域開発の計画や地域環境等の変化の際、ぜひ早期に自治会連合会をはじめ、該当するエリアの自治会長へ情報開示するよう要望を行ないました。今後、常任委員会に行政の担当者が出席しタイムリーに情報を紹介することになりました。また、該当エリアのブロック長や自治会長にも連絡するように開発担当に再度徹底することになり、本日の議題については全て終了しました。



最後に北川市長から、非常に時宜を得たテーマで話し合いが出来た。まさに震災の後、家庭の絆、地域の絆、そして自治会の絆の必要性が、非常に高まっている。自治会としてますます地道な活動を中心に、イザという時、災害に備えて防災訓練、各種勉強会を家族ぐるみ、地域ぐるみで粘り強くやっていただきたい。地域住民のため、今後とも自治会連合会と行政との連携で情報の共有と提供に努めていきたい、との閉めの挨拶をいただきました。



### 自治連&自治会も防災対策の様々な取り組みを始めました！

平成22年度から、自治会連合会として防災に関する常設の委員会を設け、防災の取り組みを始めました。また、各ブロックや自治会でも、防災訓練を積極的に取り組んでいます。主な活動を紹介いたします。

平成23年7月13日(水)、市内の自治会長を対象に“昭島市環境コミュニケーションセンター”の見学と、“防災”の研修会を実施しました。

防災の研修は、市民交流センター(玉川町4丁目)に移動し、昭島消防署の西村係長から震災時応援で宮城の地での活動報告を被災直後の写真を見せていただき説明を受けました。次に、昭島市が行っています「家具転倒器具無料支給制度」を昭島市都市計画課の永澤課長から説明を受け質疑応答を行いました。最後に、各自治会の行なっている活動報告がありました。

平成23年度・自治連役員研修会

### 『原子力緊急時支援・研修センター』視察！

平成23年10月26日(水)茨城県ひたちなか市にあります『原子力緊急時支援・研修センター(オフサイトセンター)』視察研修を実施しました。この施設には独立行政法人日本原子力研究開発機構「原子力緊急時支援・研修センター」と「茨城県原子力オフサイトセンター」と「茨城県環境放射線監視センター」が併設され、「原子力緊急時支援・研修センター」は全国でひたちなか市と福井県の2箇所、「原子力オフサイトセンター」と「環境放射線監視センター」は、全国の原子力施設の近隣に22箇所あります。3.11後の原発支援作業が続いている為、今回の施設内視察は“原子力オフサイトセンター”のみで、他はパンフレットでの説明と質疑応答となりました。「茨城県環境放射線監視センター」と「原子力緊急時支援・研修センター」の施設は、担当者よりパンフレットをもとに説明を受け、参加した自治連役員からは福島原発災害の現状をふまえ、各種の質問に対し回答をいただきました。機動性と情報、そして技術力で原子力防災活動を支えている三つの施設を視察でき、原子力の災害に備えて“情報・知識の概要”を学ぶ、貴重な機会を得ることが出来ました。



“イザの時”の防災リーダーの見分けのため

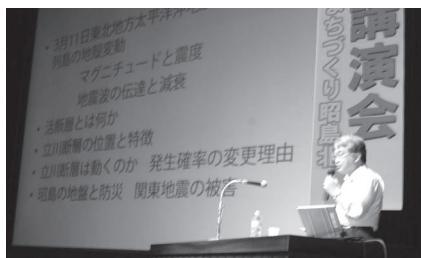
### 防災ヘルメットを作製・配布しました！

平成23年11月、東京都の地域の底力再生事業の補助金を活用し、各自治会の自主防災リーダー(自治会長等)へ全市共通の防災用ヘルメット(写真:左)を配布しました。色は、ミントグリーンです。

イザの時に、誰がこの地域のリーダーか、見分けがつかないのが現状でした。今後は、行政や消防、警察を始め、地域住民に対しても防災リーダーであるとの見分けがつくようになります。

これから、行政と災害時要援護者対応など“災害時の協働”について話し合いをいたします。





## 立川断層って動くのか～地震を知り正しく恐れよう～ 立川断層等の「防災講演会」をブロック合同開催！

平成23年6月26日(日)昭島市民会館大ホールで『防災講演会』をつつじが丘とプレイシアの4つの自治会(自治連第17.19.20ブロック)と3つの管理組合と店舗会の合同で開催しました。『立川断層

って動くのか～地震を知り正しく恐れよう～』を首都大学東京の山崎晴雄教授より、詳細の活断層の講演があり「昭島は地盤が良好で地震には強い。家具転倒防止対策と火災に対する対応が最も重要」とのアドバイスがありました。1120名の地域住民の参加がありました。

活発に防災訓練を実施／自助・共助の重要性を確認

## 自治会主催の『防災訓練』が各地域で実施！

8月28日(日)拝島第三小学校において、第11ブロックの周辺自治会が中心に昭島市総合防災訓練が開催されました。

9月25日(日)自治連の第17、19、20ブロックの高層住宅3200世帯の合同防災訓練が“避難と安否確認”をテーマに実施されました。マグネット式の3枚の安否確認ステッカー(ハガキサイズ写真:右上)を配布し、訓練開始時に玄関ドアの表に貼る訓練に7割を超える世帯が協力。全体集会では自助・共助の重要性を確認後、瑞雲中・つつじが丘北小・つつじが丘南小の校舎内に入り、避難所になった場合の受付場所や教室やグラントの活用方法、災害用倉庫内見学やトイレ等の位置を確認しました。市内の多くの自治会でも防災訓練を実施しました。



～「近助の精神」が地域の絆のキーワード～

## 2.11『防災リーダー研修会』を実施します！

東日本大震災を身近に経験した今、自治会役員として、日頃何を心がけるべきかをお互いに検証をし、今後の地域防災への取り組みとして、具体的なヒントが得られる講演になると思います。

今回は、役員のみの研修会となります。

- 日時：平成24年2月11日(土)9時30分開始
- 会場：昭島市民会館・大ホール
- 講師：山村 武彦先生(防災システム研究所所長 写真:右)
- テーマ：『自主防災組織はイザの時の為に、平常時に何をすべきか』  
～『近助の精神』が、地域の絆のキーワード～
- 参加対象：市内の自治会の役員、市内のマンション管理組合の役員  
……「平成23年度東京都地域の底力再生事業助成」対象事業……



～～～～講師：山村武彦の主なプロフィール～～～～

- 学生時代に遭遇した新潟地震でのボランティア活動を契機に研究所設立。現場主義(眞実と教訓は現場にあり)を掲げ、地震、津波、噴火、土砂災害、テロ、事故など150か所以上の災害現地調査実施。阪神・淡路大震災発生時は、2時間後に現地入りし救助活動や調査活動にあたる。同年科学技術庁長官賞受賞。講演、執筆など防災意識啓発に活躍中。実践的防災・危機管理対策の第一人者。○「近助の精神」「防災隣組」提唱者。
- 所属学会は日本災害情報学会、地域安全学会。○主な役職は消防庁防災訓練活性化研究会委員、研究開発型企業連絡会議議長、災害時要援護者避難支援研究会委員、防災対策評価委員会幹事など。○著書も多数。
- 主な出演は、NHK「ニュースウォッチ9」、TBS「朝ずばっ」、日本テレビ「ズームイン」、フジテレビ「めざましテレビ」「スーパーニュース」、テレビ朝日「報道ステーション」、など多数。

# 特集 取り戻そう！地域の絆

## 平成23年度 ～自治連の主な活動～

平成23年度も、自治連として年間活動を決め、推進しております。主な活動を5つの項目に分け報告させていただきます。

### 1、 地域のつながりの取り組み

#### (1) 登下校時の学童見守り活動

- 多くの自治会で、近隣の小学校の登校・下校時の見守り活動を、各種団体と協力し実施。

#### (2) “青パト”等の防犯活動の協力

- 現在、自治会やコミュニティ組織で、青色防犯パトロールカーを運行し、防犯・防災・交通安全のパトロール活動を積極的に実施。



▲防犯パトロール



▼防災訓練



▲多摩川クリーン作戦



▼家庭用品バザー

#### (5) 交通安全運動と自転車マナー教室の実施

- 地元の交通安全協会の支部と連携を取り、老人会等の集いの際、交通マナーやルールについて周知徹底を行なっています。
- 春と秋の全国交通安全運動週間中、啓蒙ポスターの貼り出しや回覧等を活用し交通安全を訴えています。

### 2、 生活環境の整備促進

資源回収を実施している自治会も多く、ごみ減量化や資源を大切にするリサイクル活動に行政と協働し、快適で住み良いまちにするために活動いたします。

#### (1) ごみを出さない(リデュース)、繰り返して使う(リユース)、再利用する(リサイクル)の“3R活動”的推進

- 7月の自治会長研修会で、環境コミュニケーションセンターの施設の見学と3Rについて学習。

#### (3) 学校と自治会と地域住民の合同防災訓練

- 8月28日拝島第三小で実施された昭島市総合防災訓練を自治連の11ブロックの自治会が中心になり参加し訓練を実体験。
- 小学校の児童への防災訓練に、自治会も参加し共に訓練を実施。

#### (4) 防災指導部会等による防災教育と訓練

- 単一自治会や合同の防災訓練の実施。
- 昭島消防署開催の11月11日防災の集いに参加。
- 秋の火災予防運動の際、3日間11自治会を対象に一般住宅の防災診断を実施に協力。
- 住宅用火災警報器設置の啓蒙活動の継続。  
(現状は、戸建住宅84%、民間共同住宅は88%)
- 年2回の普通救命教習会の開催と参加。
- 12月4日都の防災シンポジウム2011に代表参加。
- 消防署、行政、自治連の合同の年3回の昭島防火協会防災指導部会の開催と出席。

- 行事の際、参加者に3R運動実施の啓蒙。

- 1月の家庭用品バザーの品物提供依頼を自治会員への呼びかけと調達の協力。

#### (2) 多摩川のクリーン作戦への参加

- 昭島のあすを創る協議会主催の多摩川クリーン作戦が5月8日実施され、各自治会から大勢の方が参加。

#### (3) 美しいまちづくりの推進

- 5月30日(ごみゼロ)前後に、あきしま街なみクリーンアクション実行委員会主催の市内クリーン運動が各自治会の協力で実施。また、市内の道路等、定期的に清掃活動を実施。

#### (4) 環境コミュニケーションセンター活用支援

- 7月自治会長研修会を3月にオープンしたセンターを見学し、ごみの減量に対する意識高揚を図り、その後自治会でも見学会等を実施。

## 3、自治会加入率向上促進と活性化

### (1)未加入世帯に加入推進活動

- ・8月7日東北地方岩泉町復興支援フェスティバルの会場で、加入促進のPR活動の実施。
- ・加入促進週間を設け、防災訓練等の自治会行事へのお誘い等を日常的に実施。
- ・単一自治会支援として、加入促進用チラシや自治連の広報を未加入世帯分も作成。

### (2)自治会活性化事業に対する支援活動参画

- ・昨年に引き続き、都の「地域の底力再生事業助成」制度を自治連と11の自治会が活用し、積極的に地域の活性化に取り組む。
- ・今年度から昭島市の「地域がんばれ・立ち上がり再生事業補助金制度」が開始し活用。

### (4)自治連ホームページの運用と活用推進

- ・3月にスタートし、多くの自治会が各種自治活動の模様をブログに投稿。(8ページ参照)



▲綱引き大会



▼市内クリーン運動



▲ブロック別運動会



▼学校の記念式典

- ・春のスポーツ大会・青少年フェスティバル等のウイズユースの諸行事への参加協力し交流。

### (2)公民館と協力し生涯学習への支援

- ・自治連からも役員が運営審議の会議に出席し、公民館の運用と、生涯学習の推進に協力。

### (3)地域の学校等との各種行事への総合協力

- ・地元の中学校・小学校の入学式、卒業式、運動会、学習発表会、公開授業、記念式典等、各種行事に参加し協力。

### (4)子ども会への支援と協力

- ・自治会によって取り組み度合いは異なりますが、資源回収や子ども会行事に協力。

## 5、地域福祉事業への参加

### (1)社会福祉協議会が主催する各種委員会への参画と事業への参加

- ・自治連の常任委員会の議事内容も毎月掲載。

- ・各自治会のブログ担当者の講習会を随時開催。

### (5)自治会ハンドブックの活用

- ・3月に40ページの冊子作製し自治会に配布。
- ・自治連ホームページからダウンロードできます。

### (6)会報の内容を充実し発行

- ・自治連の活動内容を、タイムリーに情報を発信する為、新規に「自治連だより」を発行。(年3回予定)

### (7)行政と協働しスポーツ大会の開催

- ・10月に市民体育大会の一環としてのブロック別運動会を開催。(12,127人が参加)
- ・2月5日に「昭島市自治会ブロック・事業所等交流綱引き大会」に希望するブロックが参加予定。

## 4、青少年とともにあゆむ地域づくり

### (1)スポーツや音楽活動を通して青少年の健全育成の支援活動

- ・大震災の義援金・物資の担当窓口として協力。
- ・協議会の評議委員会に出席し、募金活動にも協力推進。

### (2)昭島のあすを創る協議会への参画

- ・協議会事業の多摩川一斎清掃、家庭用品バザーの品物調達、運営の協力。

### (3)赤十字奉仕団への協力

- ・10月20日昭島市赤十字奉仕団創立40周年記念式典に出席。
- ・日常活動への協力。

## 6、近隣他自治会連合会との交流

立川市自治会連合会と交流会を通して、お互いに抱えている課題について意見交換しています。今年度も立川との連絡協議会を2月23日に開催の予定です。今後、交流も含めその他の近隣の自治会連合会の活動内容の調査をしております。

# 自治会連合会のホームページが元気！ <http://www.akishima-jichiren.jp/>

Google/Yahoo

昭島市自治連

検索

昭島市自治会連合会のホームページが稼働はじめてまもなく1年！  
単一自治会のブログのページもあります。ご覧ください。

昭島市自治会連合会

昭島市自治会連合会のホームページです お問い合わせはこちら

## 東京都 昭島市自治会連合会

地域力アップで 安全安心のまちづくり  
住みよいまちをみんなでつくろう！



<b>自治会に加入しよう！</b>	<b>水と緑 の昭島</b> 市の概要・歩み	<b>自治会連合会とは</b> 組織・活動概要の紹介	<b>地域コミュニティ</b> 地域連携で安全安心を推進	<b>広報資料</b> 自治連広報や自治連50年史
<b>11 自治連の日程</b> 各種行事・会合年間の予定	<b>自治会紹介</b> 昭島市自治会一覧へ	<b>自治会運営</b> 運営ハンドブック	<b>便利なリンク集</b> お役立ちサイト一覧	



会長挨拶

小野正敏



皆様におかれましては、昭島市自治会連合会の活動にご理解、ご協力をいただき深謝いたします。

### 最新のトピックス

NEW!

連合会からのお知らせ	単一自治会新着情報
2011/12/04 東京消防庁の防災シンポジューム2011に参加 平成23年12月4日(日)午後1時から渋谷区西原の東京消防庁消防学校5階講堂において、『防災シンポジューム2011』...	
2011/11/14 つつじが丘シニアクラブが全国老人クラブ会長賞受賞 つつじが丘シニアクラブが10月25日、全国老人クラブ会長賞を受賞しました。自治会エリアとしては、自治会連合会の...	

まだ未投稿の  
自治会は是非  
はじめよう！  
隨時、講習会  
開催中！

昭島市公式  
ホームページ

■昭島市のこと学べます！  
アキシマクジラのことも写真を多く搭載しています。

■これまでの自治連広報や  
自治連50周年記念誌等  
楽しく閲覧できます。

■単一自治会の最新新着の  
内容がわかります。他の  
自治会も面白いですよ！

<b>自治会に加入しよう！</b>	<b>水と緑 の昭島</b> 市の概要・歩み	<b>自治会連合会とは</b> 組織・活動概要の紹介	<b>地域コミュニティ</b> 地域連携で安全安心を推進	<b>広報資料</b> 自治連広報や自治連50年史
<b>11 自治連の日程</b> 各種行事・会合年間の予定	<b>自治会紹介</b> 昭島市自治会一覧へ	<b>自治会運営</b> 運営ハンドブック	<b>便利なリンク集</b> お役立ちサイト一覧	

■単一自治会別のページです  
投稿準備中や検討中もあり  
順次始まっていきます！

■自治会の運営に役立つ！  
ハンドブックがPDFで  
掲載！お読みください。

■自治活動や生活に役立つ  
便利なお役に立つサイト  
が大集合しています！



★わが地域の一押し店★広告募集中！  
……ホームページ内に一覧表で掲載します。3月16日(金)締め切り！  
自治連事務局 544-5111(内線2275)まで連絡ください。

※このホームページは『平成22年度東京都の地域の底力再生事業』の助成制度を活用して作成しました。  
また、運営費はバナー広告・一押し店広告先の皆様に協力していただいております。